

授業科目

社会福祉専門ゼミⅣ

担当教員名 松山 茂樹	対象学年	4	対象学科	社会
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	○

授業の概要

社会福祉の専門的テーマをとりあげ、学生が自主的に学習し、その成果を報告し、それに基づく討論を行う。
前期の社会福祉専門ゼミⅢに引き続き、自分が最も関心を持っているテーマについて、基本的文献と専門的文献を読んだうえで各自が調査研究を進め、ゼミ論文を作成する。
具体的な学習内容、運営計画は各ゼミの担当教員による。

授業の目的

社会福祉に関する専門的なテーマについて、主体的に研究を行うことにより、専門的な知識を獲得するとともに、4年間の学習の集大成としてのゼミ論文を作成する。

学習目標

1. 選択したテーマに関する文献・資料・情報を検索・収集することにより、社会福祉の動向や課題について調べる。
2. 選んだテーマから、社会福祉学と基礎・関連諸科学との関連について考察する。
3. 選んだテーマから、社会福祉学と保健・医療などとの関連について考察する。
4. 選んだテーマから、人権尊重や人間理解の在り方について考察する。
5. 学習した成果を口頭で報告し、レポートにまとめる。
6. 討論に参加し、共同思考する。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	各ゼミの運営計画を立てる。	運営計画、役割分担	丸田、松山、横山、渡邊、寺田、河野、青木、松本、野口、原口
2	各ゼミの運営計画に基づくゼミ活動	各ゼミの運営計画の実施	丸田、松山、横山、渡邊、寺田、河野、青木、松本、野口、原口
3	同上	同上	丸田、松山、横山、渡邊、寺田、河野、青木、松本、野口、原口
4	同上	同上	丸田、松山、横山、渡邊、寺田、河野、青木、松本、野口、原口
5	同上	同上	丸田、松山、横山、渡邊、寺田、河野、青木、松本、野口、原口
6	同上	同上	丸田、松山、横山、渡邊、寺田、河野、青木、松本、野口、原口
7	同上	同上	丸田、松山、横山、渡邊、寺田、河野、青木、松本、野口、原口
8	同上	同上	丸田、松山、横山、渡邊、寺田、河野、青木、松本、野口、原口
9	同上	同上	丸田、松山、横山、渡邊、寺田、河野、青木、松本、野口、原口
10	同上	同上	丸田、松山、横山、渡邊、寺田、河野、青木、松本、野口、原口
11	同上	同上	丸田、松山、横山、渡邊、寺田、河野、青木、松本、野口、原口
12	同上	同上	丸田、松山、横山、渡邊、寺田、河野、青木、松本、野口、原口
13	ゼミ論文発表、提出	ゼミ論文作成・発表	丸田、松山、横山、渡邊、寺田、河野、青木、松本、野口、原口
14	ゼミ活動のまとめ(1)	ゼミ活動の総括	丸田、松山、横山、渡邊、寺田、河野、青木、松本、野口、原口

			原口
15	ゼミ活動のまとめ(2)	同上	丸田、松山、横山、渡邊、寺田、河野、青木、松本、野口、原口

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	使用しない。					
参考書	ゼミ担当教員が随時紹介する。					
その他の資料	各ゼミそれぞれが資料を使用する。					

評価方法

1.授業参加(発言、役割の分担遂行など) 2.レポート、ゼミ論文
以上から評価する。

履修上の留意点

ゼミは、学生の自主的、集団的学習活動を促進することを目的としているので、積極的に参加し、個人学習と共同学習を統一的に進めてほしい。

オフィスアワー・連絡先

松山研究室(E棟313)
毎週水曜日15時以降
E-mail:matuyama@nuhw.ac.jp